

# 獵師岳 & 合頭山

(りょうしだけ&ごうとうさん)

大分県 玖珠郡九重町 2024年 6月17日

のんびりよし、眺望よし、花観賞よし



森の貴婦人と称されるオオヤマレンゲ

## 本日のコース <全行程 3時間58分>

合頭山登山口 8:15 → 合頭分かれ 8:34 → スキー場へ分岐 8:52 →  
獵師岳山頂 9:13 → 林道 9:52 → オオヤマレンゲ観賞(10分程度) →  
スキー場への分岐 10:38 → 合頭分かれ 10:53 → 合頭山山頂 11:06  
<昼食休憩> 11:50 → 合頭分かれ 12:01 → 合頭山登山口 12:13

何度もくじゅうに訪れているが、実は「獵師岳&合頭山」はニューピーク。いつでも登れるという気持から後回しになっていた。今回、T師匠のお勧めで、ようやく登頂することとなった。登山口から20分弱で稜線に出ると、三俣山・星生山・久住山・扇ヶ鼻そして黒岩山・泉水山、その後、一目山・涌蓋山などたくさんの山並みを見ることが出来た。カッコウやウグイスの囀りに気分良く足取りも軽い。オオヤマレンゲやベニドウダンにも出会えて楽しい一日となった。



久しぶりに「やまなみハイウェイ」経由で長者原へ 7:49 この地点で標高は1018m  
長者原駐車場手前のこの看板前で車を止め、くじゅうの山並みを眺めた  
くじゅう連山が迫ってくると同時にワクワク感が高まる



合頭山登山口に向かう前に「平治号」に御挨拶 7:55 今日も安全登山を！



合頭山登山口前の駐車場 8:09

長者原駐車場から牧ノ戸駐車場を通り過ぎて、瀬の本方面に1km程走ると合頭山登山口に到着する。合頭山登山口の前には駐車場があるのですぐにわかる。



合頭山登山口 8:15 総勢4人でスタート！

この登山口からは合頭山と獺師岳に上ることが出来る。獺師岳の裏側に下るとスキー場。20年数年前になるが、スキー場には家族で何度か訪れたことがある。



久しぶりのくじゅう。森の中に入ると、くじゅうの黒土によるものなのか、くじゅう連山ならではの匂いに包まれる。この匂いを嗅ぐと、とてもリラックスできて嬉しくなってくる。



サワフタギ



森を抜けて振り向くとさっそくくじゅう連山の山並みが見えてくる 8:28



振り返りつつ上るので次第にペースダウン  
三侯山の山腹がうっすらとピンクに見える。まだミヤマキリシマが頑張っているようだ。



合頭分かれ(ごとうわかれ) 8:34 左の獵師岳へ進む

左は獵師岳、右は合頭山。今日は両山共に登頂予定だが、先ずは獵師岳山頂を踏んだ後、獵師岳中腹にあるオオヤマレンゲを觀賞し、またこの地点に戻って合頭山を目指す計画だ。



登山口から19分で稜線に出た



平坦な歩き易い登山道と緩やかなアップダウン 8:38 気持ちの良い風が吹き渡る。  
ウグイスの囀りに加えてカッコウも鳴きだした！  
「カッコウ、カッコウ」と言う鳴き声が聞こえると、非日常を味わえて何とも言えないいい感じ。



スキー場への分岐を通過 8:52 直進して狛師岳へ  
この後この分岐を直進して、狛師岳→オオヤマレンゲを観賞→そして山麓を周回するルートで  
またこの「スキー場への分岐」に上り返してくる予定だ。



イブキトラノオ



ノアザミ



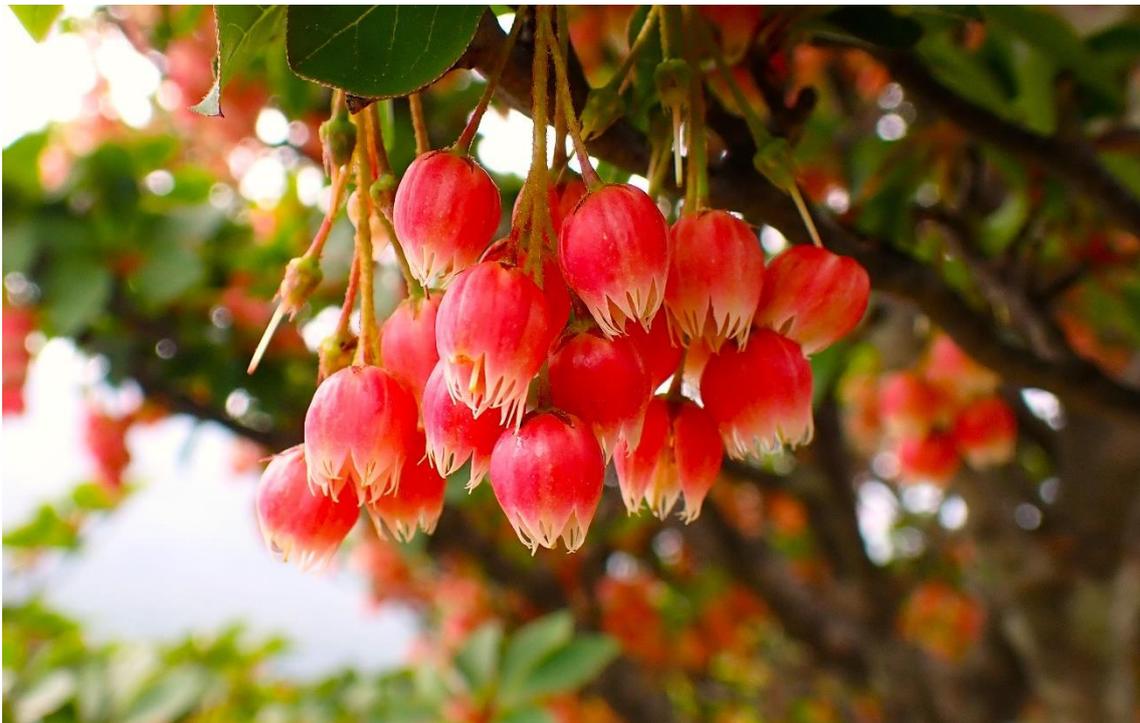
岩峰展望台にて三侯山を望む 9:04



ベニハナニシキウツギ



ベニドウダンツツジ(背景は扇ヶ鼻&岩井川岳)



ベニドウダンツツジのアップ



ミヤマキリシマも僅かに残っている



お花と風景を楽しみながら… 9:12 山頂まであと少し頑張りましょう！



狩師岳山頂 9:13 1423m T井さんご夫妻は今日も元気です！  
登山口をスタートして、ゆっくりお花の散策をしながらでも58分で登頂！



山頂にて少し休憩後、狩師岳を下りオオヤマレンゲ観賞へと向かう。 9:19  
上ってきたルートとは別のルートでスキー場方面へ下る。



森の中を下る 9:28 快調・快調



タツナミソウ



一旦森を抜け、なだらかな斜面を下る。すると、一目山や涌蓋山などが見えてきた。 9:33



ツルシキミの実



森の中を下り林道に飛び出した 9:52 獺師岳山頂から33分



森を抜けて林道へ 9:52 この林道沿い(山側)にオオヤマレンゲの木がある  
林道に出て左へ下る。



林道を少し下ると、右側にスキー場への道(うさぎコース)がある 9:53 通過  
林道の先を見ると、オオヤマレンゲの場所には先客がいるようだ。



スキー場への道(うさぎコース)の道標

オオヤマレンゲを見るために、スキー場から「うさぎコース」で上ってくる人も多い。



見事に咲いたオオヤマレンゲとご対面



手の届きそうなところに花が咲いていてラッキーだった  
上を向いて撮影をしていると首が痛くなった(笑)



まだまだ硬いツボミも発見！ ツボミも品があり美しい。



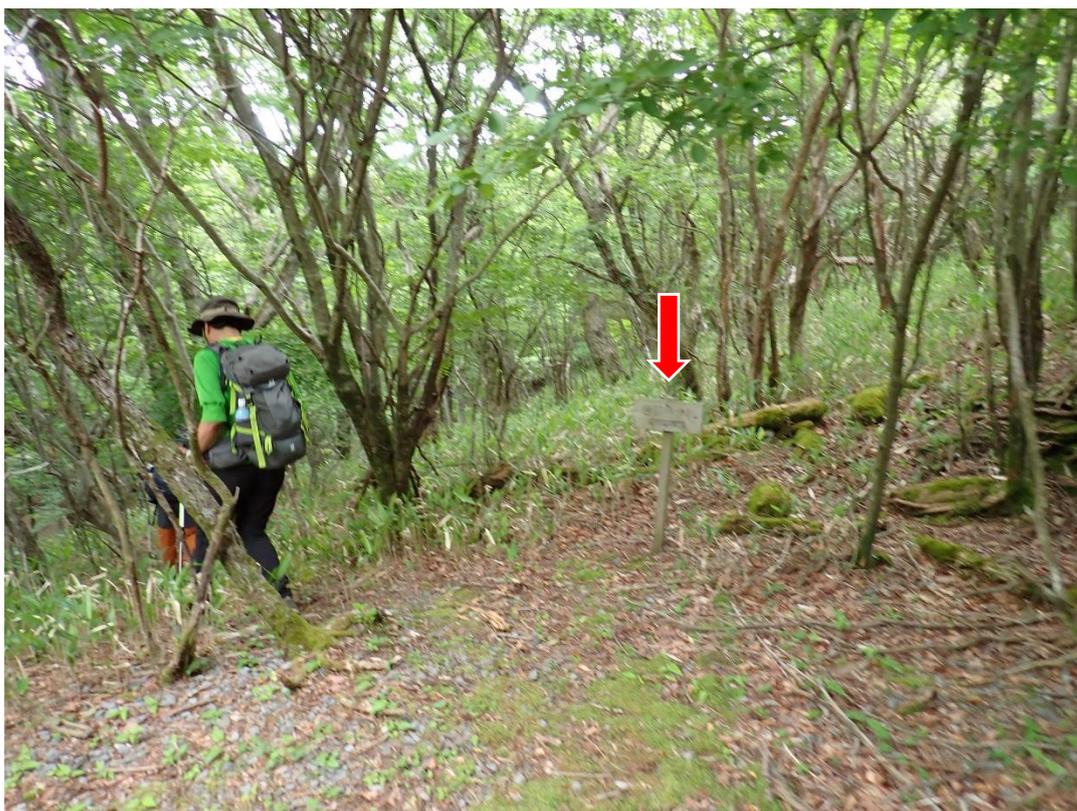
オオヤマレンゲの下にはマムシグザ。これぞ、天国と地獄？  
森の貴婦人に会うことが出来て皆さん満足。それでは合頭山を目指しましょう！  
合頭山へは今下って来た林道を上り返すことになる。



先ほど狛師岳から下って来た場所を通過して林道を上って行く。 10:02  
この先にもオオヤマレンゲの木があるらしい。(山側)



オオヤマレンゲの木を見つけやすいように、親切に道標が立てられている。 10:06  
我々は道標に表示してある「合頭分かれ」を目指して進んだ！



林道はここで終了し、「合頭分かれ」への道標に沿って森の中へ入っていく。 10:10



「合頭分かれ」の道標は文字が薄くなって見え難い



シカの角が落ちていた



たった一株、遅咲きのミヤマキリシマが綺麗に咲いていた。  
ウグイスとカッコウの囀りが足取りを軽くする。



森の中ではピンクテープに沿って歩いていたが、うっかりルートを外れてしまった。  
少々焦ったが、T井さん先導で落ち着いてルートを修正。本道に合流。



T師匠が立ち止まった場所は「シャクナゲ谷」だった。 10:33  
水分補給を忘れずに！



今日は獺師岳の山腹を随分歩いているが、確かにシャクナゲの木が多く見られた。  
シャクナゲの季節も獺師岳に登ってみたいものだ。



スキー場への分岐 **10:38** 予定通り往路で通った場所に出てきた  
これから合頭山へ！



スキー場への分岐からは、なだらかなアップダウンを残すのみ。 10:39 楽勝気分。



合頭分かれ 10:53 2度目の合頭分かれ



「アレッ？ T井さんのザックにシカの角？」 こんな大きな角も落ちていたんだ！  
合頭別れからはアップダウンを2回繰り返し進んでいく。



そして馬酔木(アセビ)の群落の中を通り抜けると・・・ 11:02



合頭山山頂 11:06 1384m 獺師岳より39m 低かった

13年前(2011年4月)に、登山者が不注意でガスバーナーをひっくり返し、その火が枯草に燃え広がって、この山頂部が火事になったことがある。火事の一週間後、真っ黒になった山頂部を黒岩山から見下ろしたことを思い出した。

<合頭山山頂で約40分の昼食休憩>



山頂からは涌蓋山も見えるし、黒岩・泉水・三俣・星生・扇ヶ鼻などくじゅう連山を一望できる。涌蓋山～くじゅう連山のパノラマ風景も新鮮でなんとなく得した気分。



昼食後、全員で集合写真を撮っていざ下山。 11:50  
皆さん、山から元気もらっていい顔しています。



合頭分かれ 12:01 三度目の合頭分かれ



いい眺めの中、合頭分かれから一気に下山 12:02 正面の風景を見納める



合頭山登山口 12:13 あっという間に下山してゴール

3時間58分の山歩きが無事に終了。  
スマホの歩数計は12475歩。T師匠・Tさんご夫妻お世話になりました。  
お疲れさまでした。